



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 味の素株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2802 URL <https://www.ajinomoto.co.jp/company/>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 藤江 太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行理事グローバル財務部長 (氏名) 渡辺 一臣 TEL 03-5250-8111  
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	339,521	5.6	42,852	5.7	39,596	3.8	29,632	1.3	27,220	△1.9
2023年3月期第1四半期	321,619	16.4	40,524	4.1	38,147	9.2	29,248	22.3	27,738	25.7

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	51.77		51.75	
2023年3月期第1四半期	51.71		51.71	

(注) 当社グループは、IFRSの適用にあたり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2024年3月期第1四半期	1,650,527		849,479		791,072		47.9	
2023年3月期	1,511,734		822,968		768,676		50.8	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年3月期	—	31.00	—	37.00	68.00
2024年3月期	—				
2024年3月期 (予想)		37.00	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,465,000	7.8	150,000	10.8	95,000	1.0	182.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	529,798,154株	2023年3月期	529,798,154株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,411,140株	2023年3月期	495,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	525,780,448株	2023年3月期1Q	536,435,145株

（注）期末自己株式数には、当社の役員等を対象とする中期業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2024年3月期1Q 373,400株、2023年3月期 373,400株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P2、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2023年8月4日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(重要性がある会計方針) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、IFRSの適用に当たり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、電子材料の販売減の影響等によりヘルスケア等セグメントが減収となったものの、販売単価の上昇や換算為替の影響等により調味料・食品セグメント及び冷凍食品セグメントが増収となった結果、前年同期を179億円上回る3,395億円（前年同期比105.6%）となりました。事業利益は、ヘルスケア等セグメントの減収や原材料等のコスト増等の影響を受けたものの、調味料・食品セグメント及び冷凍食品セグメントの増収効果等により、前年同期を23億円上回る428億円（前年同期比105.7%）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期に比べその他の営業収益の計上が少なかった影響等により、前年同期を5億円下回る272億円（前年同期比98.1%）となりました。なお、2023年5月11日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。

## セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

対前年実績	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第146期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比	第146期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比
調味料・食品	2,001	157	108.6%	309	67	127.7%
冷凍食品	638	29	104.9%	39	28	354.3%
ヘルスケア等	721	△14	98.0%	69	△72	48.9%
その他	34	6	122.2%	10	△0	96.9%
合計	3,395	179	105.6%	428	23	105.7%

業績予想に対する進捗	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第146期 第1四半期	通期予想	進捗率	第146期 第1四半期	通期予想	進捗率
調味料・食品	2,001	8,238	24.3%	309	929	33.3%
冷凍食品	638	2,923	21.8%	39	37	105.4%
ヘルスケア等	721	3,301	21.9%	69	541	12.8%
その他	34	186	18.3%	10	△8	—
合計	3,395	14,650	23.2%	428	1,500	28.6%

## 1) 調味料・食品セグメント

調味料・食品セグメントの売上高は、販売単価の上昇や換算為替の影響等により、前年同期を157億円上回る2,001億円（前年同期比108.6%）となりました。事業利益は、原材料等のコスト増の影響等があったものの、増収効果等により、前年同期を67億円上回る309億円（前年同期比127.7%）となりました。

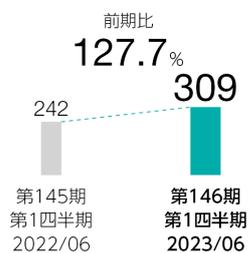
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で増収。  
日本は、主に単価上昇により増収。  
海外は、単価上昇、為替影響等により増収。
- ・栄養・加工食品は、全体で増収。  
日本は、主にコーヒー類やスープの単価上昇により増収。  
海外は、即席麺の販売増、為替影響等により増収。
- ・ソリューション&イングリディエントは、外食向け製品の販売増等もあるも、加工用うま味調味料の販売減等により、全体で前年並み。

## 事業利益(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・調味料は、全体で大幅増益。  
日本は増収も、原材料等のコスト増影響により減益。  
海外は、原材料等のコスト増影響あるも、増収効果等により大幅増益。
- ・栄養・加工食品は、全体で減益。  
日本は増収も、原材料等のコスト増影響により減益。  
海外は増収も、コスト増影響により前年並み。
- ・ソリューション&イングリディエントは、売上高は前年並みも、加工用うま味調味料を中心に増益となり全体で大幅増益。

## 2) 冷凍食品セグメント

冷凍食品セグメントの売上高は、販売単価の上昇や換算為替の影響等により、前年同期を29億円上回る638億円（前年同期比104.9%）となりました。事業利益は、販売単価の上昇や構造改革効果等により、前年同期を28億円上回る39億円（前年同期比354.3%）となりました。

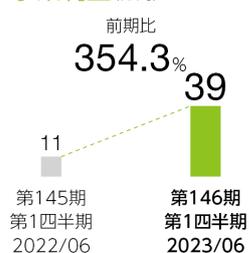
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で増収。  
日本は、単価上昇効果あるも、数量減により減収。  
海外は、為替影響、単価上昇等により増収。

## 事業利益(億円)



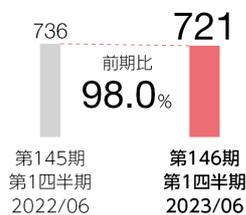
## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・全体で大幅増益。  
日本は減収も、単価上昇やコスト改善効果等により増益。  
海外は、原材料等のコスト増影響あるも、増収効果や構造改革効果等により大幅増益。

## 3) ヘルスケア等セグメント

ヘルスケア等セグメントの売上高は、バイオフィーマサービス&イングリディエンツが増収となったものの、電子材料の販売減の影響等により、前年同期を14億円下回る721億円（前年同期比98.0%）となりました。事業利益は、電子材料の減収影響等により、前年同期を72億円下回る69億円（前年同期比48.9%）となりました。

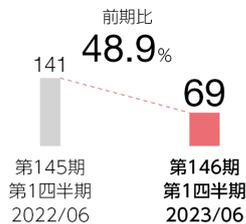
## 売上高(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリディエンツは、為替影響に加え、バイオフィーマサービス（CDMO）の販売増により増収。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、主に電子材料の販売減により大幅減収。
- ・その他は、全体で前年並み。

## 事業利益(億円)



## &lt;主要な変動要因&gt;

- ・バイオフィーマサービス&イングリディエンツは、医薬用・食品用アミノ酸の減収影響等により大幅減益。
- ・ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、大幅減収に伴い大幅減益。
- ・その他は、戦略的費用の投入等により全体で減益。

## 4) その他

その他の事業の売上高は、前年同期を6億円上回る34億円（前年同期比122.2%）となり、事業利益は10億円（前年同期比96.9%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の1兆5,117億円に対して1,387億円増加し、1兆6,505億円となりました。これは主として、換算為替の影響による各資産残高の増加に加え、現金及び現金同等物及び棚卸資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の6,887億円に対して1,122億円増加し、8,010億円となりました。これは主として、有利子負債の増加によるものです。有利子負債残高は、コマーシャル・ペーパーやサステナビリティ・リンク・ボンドの発行等により、前連結会計年度末に対して1,225億円増加し、4,590億円となりました。

資本合計は、自己株式の取得による減少の一方、主に円安の進行に伴う在外営業活動体の換算差額の増加により、前連結会計年度末に対して265億円増加しました。資本合計から非支配持分を引いた親会社の所有者に帰属する持分は、7,910億円となり、親会社所有者帰属持分比率は47.9%となりました。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	132,777	192,043
売上債権及びその他の債権	163,714	166,528
その他の金融資産	12,312	14,015
棚卸資産	269,822	300,225
未収法人所得税	12,674	24,269
その他の流動資産	24,235	24,834
小計	615,537	721,916
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	—	—
流動資産合計	615,537	721,916
非流動資産		
有形固定資産	536,565	551,217
無形資産	65,916	66,556
のれん	92,114	97,253
持分法で会計処理される投資	119,825	123,793
長期金融資産	53,749	56,595
繰延税金資産	8,969	8,130
その他の非流動資産	19,056	25,062
非流動資産合計	896,197	928,610
資産合計	1,511,734	1,650,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	197,981	187,076
短期借入金	12,599	10,794
コマーシャル・ペーパー	—	98,000
1年内償還予定の社債	19,988	19,991
1年内返済予定の長期借入金	16,733	17,207
その他の金融負債	11,084	11,469
短期従業員給付	42,141	38,703
引当金	7,723	1,875
未払法人所得税	15,990	12,641
その他の流動負債	15,402	22,739
小計	339,644	420,499
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	—	—
流動負債合計	339,644	420,499
非流動負債		
社債	119,696	149,583
長期借入金	119,548	115,324
その他の金融負債	54,984	54,740
長期従業員給付	26,568	28,435
引当金	3,499	3,678
繰延税金負債	22,361	25,681
その他の非流動負債	2,461	3,105
非流動負債合計	349,120	380,547
負債合計	688,765	801,047
資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	—	52
自己株式	△1,342	△41,466
利益剰余金	652,307	660,862
その他の資本の構成要素	37,848	91,759
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素	—	—
親会社の所有者に帰属する持分	768,676	791,072
非支配持分	54,292	58,407
資本合計	822,968	849,479
負債及び資本合計	1,511,734	1,650,527

(2) 要約四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	321,619	339,521
売上原価	△204,057	△215,434
売上総利益	117,561	124,087
持分法による損益	2,169	747
販売費	△43,314	△43,522
研究開発費	△6,534	△7,274
一般管理費	△29,357	△31,186
事業利益	40,524	42,852
その他の営業収益	2,980	1,277
その他の営業費用	△1,895	△3,535
営業利益	41,610	40,593
金融収益	2,623	2,294
金融費用	△6,085	△3,291
税引前四半期利益	38,147	39,596
法人所得税	△8,898	△9,964
四半期利益	29,248	29,632
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	27,738	27,220
非支配持分	1,510	2,412
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	51.71	51.77
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	51.71	51.75

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要性がある会計方針)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(新会計基準の適用の影響)

重要な事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主として製品別のセグメントから構成されており、「調味料・食品」、「冷凍食品」、「ヘルスケア等」の3つを報告セグメントとしております。

いずれの報告セグメントも、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

各報告セグメントに属する製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	製品区分	主要製品
調味料・食品	調味料	うま味調味料「味の素®」、「ほんだし®」、「Cook Do®」、「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト® マヨネーズ」、「Ros Dee®」（風味調味料）、「Masako®」（風味調味料）、「Aji-ngon®」（風味調味料）、「Sazon®」（風味調味料）、「SAJIKU®」（メニュー用調味料）、「CRISPY FRY®」（メニュー用調味料）等
	栄養・加工食品	「クノール® カップスープ」、「YumYum®」（即席麺）、「Birdy®」（コーヒー飲料）、「Birdy®3in1」（粉末飲料）、「Blendy®」ブランド品（「CAFÉ LATORY®」、スティックコーヒー等）、「MAXIM®」ブランド品、「ちょっと贅沢な珈琲店®」ブランド品、ギフト各種、オフィス飲料（カップ自販機、給茶機）等
	ソリューション&イングリディエンツ	国内外食用・食品加工用うま味調味料「味の素®」、外食用調味料・加工食品、加工用調味料（天然系調味料、酵素製剤「アクティブ®」）、外食嗜好飲料、加工原料、弁当・惣菜、ベーカリー製品、核酸系調味料、甘味料（加工用アスパルテーム、家庭用「パルスweet®」等）等
冷凍食品	冷凍食品	餃子類（「ギョーザ」、「しょうがギョーザ」、POT STICKERS等）、米飯類（「ザ★®チャーハン」、CHICKEN FRIED RICE、YAKITORI CHICKEN FRIED RICE等）、麺類（YAKISOBA、RAMEN等）、デザート類（業務用ケーキ、MACARON等）、焼売類（「ザ★®シュウマイ」等）、鶏肉加工品類（「やわらか若鶏から揚げ」、「ザ★®から揚げ」等）等
ヘルスケア等	医薬用・食品用アミノ酸	医薬用・食品用アミノ酸、培地
	バイオフィーマサービス (CDMO)	医薬品中間体及び原薬、無菌製剤 (Fill&Finish) 等の受託開発製造サービス
	ファンクショナルマテリアルズ (電子材料等)	電子材料 (半導体パッケージ用層間絶縁材料「味の素ビルドアップフィルム® (ABF)」等)、機能性材料 (接着剤「プレーンセット®」、磁性材料「AFTINNOVA® Magnetic Film」等)、活性炭、離型紙等
	その他	飼料用アミノ酸、ダイレクトマーケティング (健康基盤食品 (「グリナ®」、「アミノエール®」) 等)、スポーツニュートリション (サプリメント (「アミノバイタル®」) 等)、パーソナルケア素材 (アミノ酸系マイルド洗浄剤「アミソフト®」・「アミライト®」、アミノ酸系マイクロプラスチックビーズ代替「アミホープ® SBシリーズ」等)、メディカルフード、農業サービス等

## (2) セグメント売上高及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上高及び業績は以下のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高は、主に第三者間取引価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	184,343	60,848	73,639	2,788	321,619	—	321,619
セグメント間の内部売上高	1,797	37	839	6,722	9,397	△9,397	—
計	186,140	60,886	74,479	9,511	331,016	△9,397	321,619
持分法による損益	741	—	28	1,399	2,169	—	2,169
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	24,205	1,128	14,138	1,051	40,524	—	40,524
						その他の営業収益	2,980
						その他の営業費用	△1,895
						営業利益	41,610
						金融収益	2,623
						金融費用	△6,085
						税引前四半期利益	38,147

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

(注) 3. 当連結会計年度において、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、研究開発費等の費用の配賦方法を変更しており、前連結会計年度に当該変更を遡及適用しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	調味料・ 食品	冷凍食品	ヘルス ケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	200,108	63,833	72,171	3,407	339,521	—	339,521
セグメント間の内部売上高	1,779	19	776	5,503	8,078	△8,078	—
計	201,887	63,853	72,948	8,911	347,600	△8,078	339,521
持分法による損益	△394	—	△15	1,157	747	—	747
セグメント利益又は損失 (事業利益又は事業損失)	30,921	3,999	6,911	1,019	42,852	—	42,852
						その他の営業収益	1,277
						その他の営業費用	△3,535
						営業利益	40,593
						金融収益	2,294
						金融費用	△3,291
						税引前四半期利益	39,596

(注) 1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。  
全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

## (重要な後発事象)

## (重要な固定資産の譲渡)

当社の連結子会社であるマレーシア味の素社は、2023年7月20日に旧工場土地等の譲渡に係る売買契約を締結いたしました。

## (1) 譲渡の理由

マレーシア味の素社の工場の移転に伴い、経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、以下の資産を譲渡することといたしました。

## (2) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在	譲渡価額	譲渡益	現況
土地 (105,137㎡)、建物及び構築物 LOT/PT NO. 6269, 22968, 49366, 22910, 47088 & 4508 IN MUKIM OF KUALA LUMPUR, DISTRICT OF KUALA LUMPUR, WILAYAH PERSEKUTUAN KUALA LUMPUR, MALAYSIA	約126億円	約118億円	遊休資産

(注) 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡に係る諸費用の見積額を控除した概算額です。

## (3) 譲渡先の概要

譲渡先はParagon TSL Sdn Bhd社です。なお譲渡先と当社及び当社グループとの間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者について、特記すべき事項はありません。

## (4) 連結損益へ与える影響

当該固定資産の物件引渡日は当連結会計年度内を予定しており、当連結会計年度において、約118億円をその他の営業収益に計上する予定です。